

生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む 学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表

【数学】

〈学習状況についての実態〉

- ・ 数学に対する関心・意欲については、比較的高く評価できる傾向がある。しかし、発言や表現できる生徒とそうでない生徒との個人差がある現状は変わらない。
- ・ 数学的な技能に関しては、計算の方法やポイントを理解している生徒が多くみられる。
- ・ 数学的な見方や考え方にあたる文章題や図形の論証では、解き方や定理の使い方を中心に十分な時間を確保し指導に当たっている。

〈昨年度の区学力調査の分析〉

- ・ 数学的な技能については計算をしたり、角度や長さを求めたりする問題に関して理解している生徒が多くみられる。
- ・ 関数の知識・理解については理解できているがグラフの利用になると応用できない状況が見られる。問題文の内容を十分理解させたい。
- ・ 図形の性質を使った論証力については、区の平均値より上回っている。
- ・ 確率については、知識理解が不十分な部分があり、場合の数を丁寧に考えられるようにする。

〈昨年度の都学力調査の分析〉

- ・ 数学的な知識・理解に関しては、ほぼ理解できている。
- ・ 数学的な技能に関しては平均値より高い状況であるが資料の整理については、正答率が低い状況となっている。
- ・ 数学的な見方・考え方については、必要な状況を正確に取り出す力、また、類推し読み取り応用する力が不足している。

〈今後の課題〉

- ・ 数学的な表現力を身に付け、知識・理解についての理解力を生かし自分の考えを筋道立ててまとめ、それを発表できる力を付けさせる。
- ・ 問題文を正確に読み取り、必要な情報を収集し複数の単元で学んだ知識を応用できるように図に表したり数式化を図ったりするようにする。
- ・ 課題解決的な内容を授業の中に取り入れて数学的な見方・考え方の能力を伸ばす。
- ・ 学力向上支援講師の授業参加を有効に活用できるように指導者側で授業の進め方を工夫する。